

第5回やさい畑クラブ実施報告書

開催日:2024年5月19日(日) 19:00~21:30

会場:Zoomによるオンライン会

参加者: 島田(横浜)、柳瀬(深谷)、阿部(桂)(三重)、吉平(愛知)、中村(四国)、
富澤(前橋)、小西(さいたま)、倉林(平塚)、松原(さいたま)
堤(宇都宮)、麻生(川越)、二宗(愛知) 合計 12名

今回のテーマは、4月に植え付けた春夏野菜が順調に育っている時期であり、次の3つを事前に提示して参加してもらった。

- ・夏野菜の栽培状況
- ・使っている肥料
- ・野菜づくりの相談事

参加の皆さんへ伝えたい情報に対しての事前提出をお願いしたところ、7名の方から写真等の資料をいただいた。写真だけでなく、詳しい野菜の品種名や解説文も入ったりしたものも多かった。

これらの資料を基に、いろんな質問や意見が出てきて、いい勉強会となった。

種や苗の話では、一般の種屋さんでは量が多すぎて困っているので100円ショップのダイソーで購入すれば量も少なく便利。サツマイモの苗は近所の苗を作っている農家さんから直接購入できるので、非常に安く手に入れられて助かる。などが紹介された。

沢山収穫できた野菜は、近所に配ったり、さらに子ども食堂に提供して地域貢献している人もいた。



栽培方法などもYouTubeなどを使って調べて皆さん非常に研究熱心である。

自然環境も昔と違ってより高温になり、それにより実がつかなくなったりして困っているとか、小動物の被害が増加し、その対策をどうするか悩んでいるなどの問題点も多く聞かれた。

使っている肥料については、ウクライナの戦争等の影響もあり、化成肥料の値段が高くなって大変である。牛糞や鶏糞、コンポスト堆肥を中心に、それに化成肥料も追加という形で使っている人がほとんど。昔評判になった「えひめ AI-2」という有機肥料を最近作るという人もあった。

皆さん苦労しながら努力している姿が見えた。

この会は2か月に1回で、その間の会員同士の情報交換に「Slack」を活用している。しかし無料版であり90日過ぎると、過去のもが見えなくなる。その対策を会員の松原さんをお願いしている。

対応策として、必要なものを別アプリで保管する方向で進んでいる。特にお金をかけずに、会員がどこからでも閲覧できることを優先して取り組んでいる。

